

ブラインド型車両搭載情報板

取扱説明書

保証書付

- ご使用前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保存してください。

目 次

注意事項	2
同梱品	3
各部の名称と説明	4
接続概略図	5
取付要領	6
操作方法	8
設定ソフト操作方法	10
保証 ・ アフターサービス	13
製品仕様	14

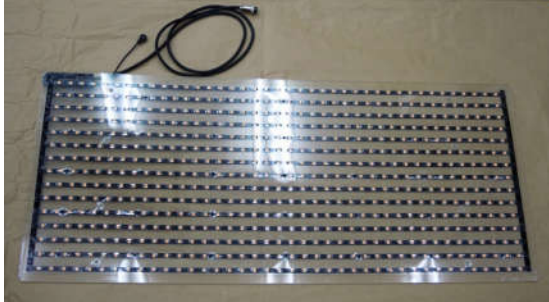
注意事項

-本機について

- 取扱説明書をよくお読みいただき正しく安全にご使用ください。
- 本製品を取り付ける際は、当社またはカーディーラー、カーショップ、車両部品取付店等にて行ってください。（自動車や電装関係の知識が有る所で取付を行ってください。）当社では初期不良以外の故障、上記以外での取り付け等（知識の無い所での取り付け）による破損、事故などは一切保障いたしかねますので、ご注意ください。
（取付方法は取扱説明書のP6の「取付要領」を参照してください）
- 落下、衝撃などにより変形やへこみ等が発生した場合には直ちに使用を中止してください。
- 使用中に異常な発熱、異臭などを感じた場合には直ちに使用を中止してください。
- 本製品の分解や修理、改造などは危険ですとおやめください。修理等が必要な場合、当社、または販売店へご連絡いただき、専門業者以外の方が取り外したりしないでください。
- 使用前に、必ず日常点検を行ってください。
 - ・電源を入れ、正常に動作するか？
 - ・製品のネジや部品に緩みなどはないか？
 - ・表示部及び表示電源 制御部の固定部分のネジに緩みはないか？
- 不要となった場合の破棄については販売店または販売元までご相談ください。
- 汚れた場合は中性洗剤で拭き取り、ベンジンやシンナーなどは変色や変形の原因となりますので使用しないでください。
- 次の場所に設置、保管をしないでください。
 - ・強い磁気、静電気が発生するところ。
 - ・温度や湿度が使用環境に（条件）に合致しないところ。
 - ・平らでないところや振動が発生するところ。
 - ・火気の周辺や熱気のコモるところ。
 - ・漏電、漏水の危険があるところ。
 - ・その他、保存環境に合致しないところ。

同梱品

表示部 (ワイドサイズ仕様、ローサイズ仕様、ミニサイズ仕様)



コントローラー



コネクタ付電源接続ケーブル (7m)



コントローラー用フック (M3 タッピングネジ付属)



タッピングビス (M4×16) 8個
(表示部用、表示電源制御部用)



表示電源 制御部



自在取付金具 (表示部取付ねじ付属)



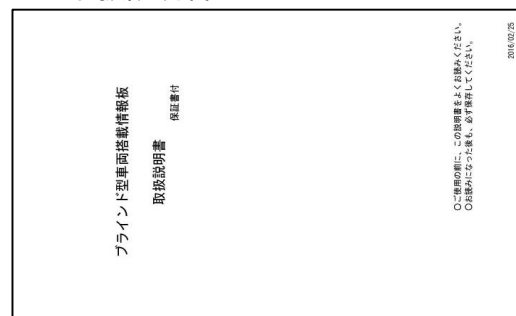
データ転送用USBケーブル



設定ソフトCD



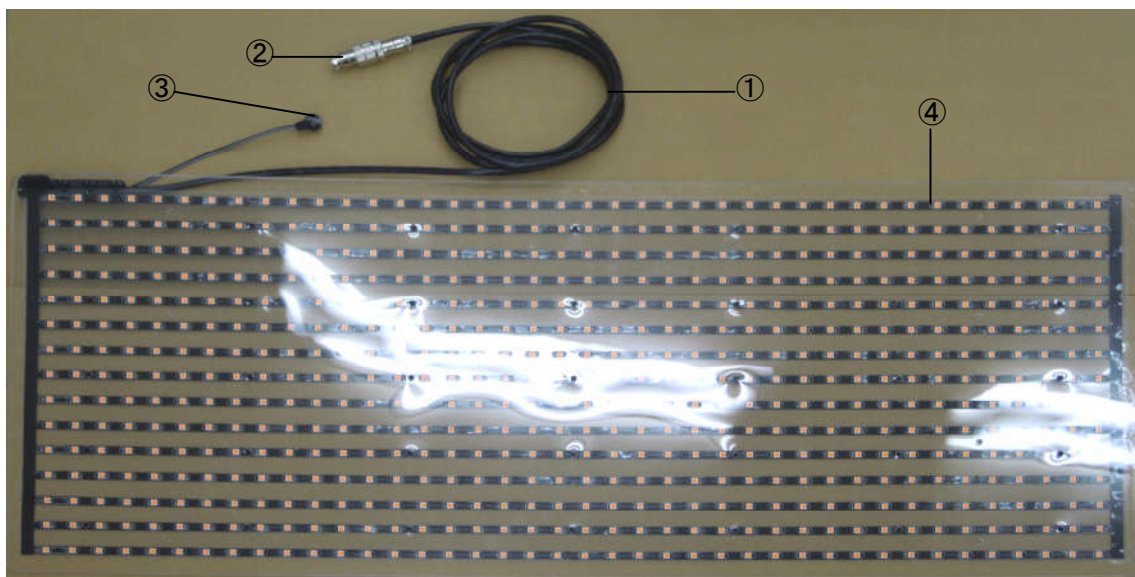
取扱説明書



各部の名称と説明

表示部

- ①コネクタ付ケーブル
表示電源 制御部に接続します
- ②保護コネクタ
表示電源 制御部に接続する直前に外してください。
- ③CDSセンサー（両面テープ付）
周囲の明るさを感知し、昼・夜モードの切り替えをします。
- ④表示面



表示電源 制御部

- ①電源コネクタ
車両からの電源線に接続します
- ②表示部接続コネクタ
表示部を接続します
- ③データ入力コネクタ
データ転送用USBケーブルを接続します

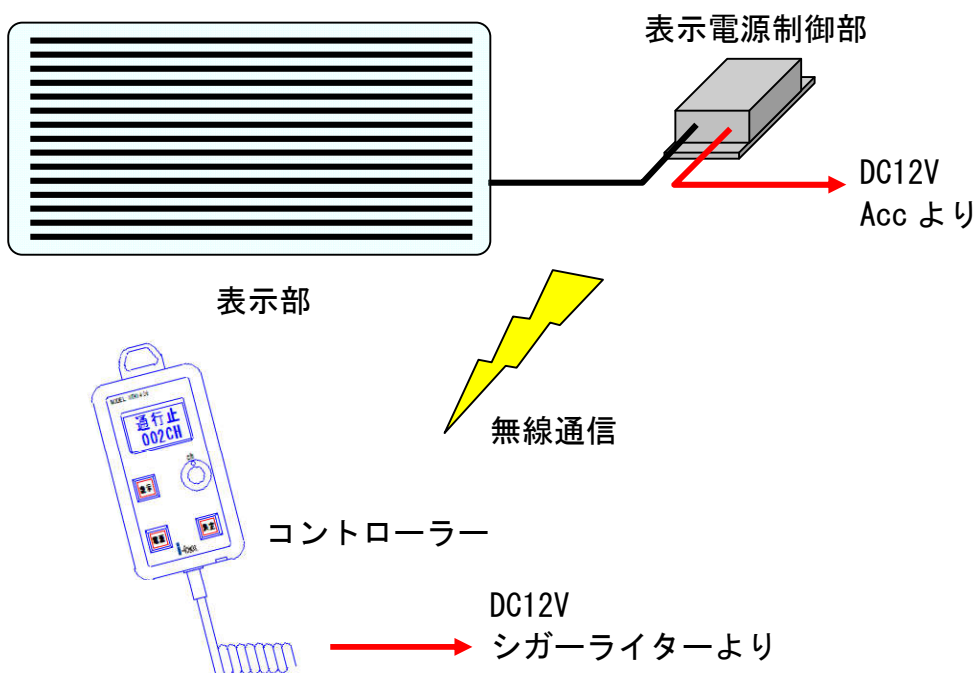


コントローラー

- ①ハンガー
車両側のフックにかけます
- ②液晶表示部
設定内容が表示されます
- ③表示スイッチ・ランプ
表示の点灯、消灯を行います
ランプ点灯時、表示部が点灯します
- ④ブザー（背面）
各操作を行った時に音が鳴ります
- ⑤選択ダイヤル
CH選択を行います
- ⑥電源スイッチ・ランプ
長押しで電源の入り・切を行います
- ⑦決定スイッチ
CH選択後このスイッチで決定します
- ⑧データ入力コネクタ
データ転送用 USB ケーブルを接続します
- ⑨シガープラグ
車両のシガーソケットに差し込みます
- ⑩通電表示 LED
車両からの電源が入ると点灯します



接続概略図



取付要領

1 取付け時及び車両の注意事項

本製品は電子部品を使用しているため、静電気等に注意して作業してください。
(作業前に車両の金属部に触るなどして、体に帯電している電気を放電させてから作業を行ってください)

本製品は車両の後部ゲートの内側に取付けてガラスを通して後方向けに表示するため、ガラスの透視範囲がワイドサイズの場合、幅 870mm、高さ 370mm 以上、ノーマルサイズの場合、幅 870mm、高さ 270mm 以上、ミニサイズの場合幅 690mm、高さ 260mm 以上あることを確認してください。

車両の後部ガラスを外から見たときには大きく見えますが、内側より外周がマスクされており実際の透視できる範囲はかなり狭くなっています。

後部ガラスにスモークフィルム等が張られている場合は、光の透過率が落ちるために実際の明るさよりも暗くなります。

後部ガラスが垂直に近いワンボックスタイプへの取り付けが望ましく、セダンタイプのような後部ガラスが極端に傾斜している車両への取り付けは不向きです。

2 表示部の取付け

付属の自在取付金具により後部ガラスの上下金属部分にビスで固定します。

(付属している、タッピングビス等でも固定できますが、金属部への固定はブラインドナット、樹脂部への取付はジャックナットがしっかりと固定でき、有効です。)

取付金具は上下方向の伸縮や先端部の角度調整が可能です。付属金具では対応しきれない場合は弊社営業までお問い合わせください。



ブラインドナット



ジャックナット



表示部のコネクタ付ケーブルは後部ゲートの開閉時でも無理が掛からないように配線固定し、表示電源制御部の「表示部接続コネクタ」に接続します。(※保護コネクタは表示電源制御部に接続する直前まで外さないで作業してください。)

表示部から出ているCDSセンサー(両面テープ付)を表示部外側のガラス面に貼り付けます。

3 表示電源 制御部の取付け

表示部より長さ 2.5mのコネクタ付ケーブルが出ており、このケーブルの届く範囲にビスでしっかり固定してください。

表示電源制御部の取付け方向に制限は無くどの方向に取付けてもかまいませんが、データ入力コネクタに付属の「データ転送用USBケーブル」が接続できるように取付けてください。



4 コネクタの接続

表示部から出ている「コネクタ付ケーブル」を「表示部接続コネクタ」に差し込み、しっかりと締付けます。

電源等は付属のケーブルで下記のように接続します。



1 番ピンはバッテリーのマイナス (ボディアース) に接続します。

2 番ピンは空きピンです。

3 番ピンは 10 以上のヒューズの入ったアクセサリ回路 (シガーソケット等) に接続し、エンジンが掛かっていないときは DC 12 V が切断されるようにします。

5 コントローラーの設置

コントローラーは運転席のシガーライターにシガープラグを差し込んで電源に接続し、付属のコントローラーハンガーを運転の支障にならない位置に取付けてコントローラーを掛けて使用します。



6 動作確認

P8 の「操作方法」の手順で動作確認を行います。

7 注意事項

固定ネジ部にはネジロックをするなど、緩み止めを行ってください。

操作方法

1 使用準備

P5～P7 を参考に、車両へ表示部、表示電源制御部、コントローラーを取り付け配線します。コントローラーは電源接続部がシガープラグになっているので、シガーライターにしっかりと差し込みます。車両のエンジンをかけると、シガープラグの通電表示LEDで電源が入った事を確認できます。

2 電源ON

電源スイッチを長押しするとブザーがピッと鳴って電源ランプが点滅を始め、液晶表示部に『準備中』と表示されます。(図①)

この間に表示電源制御部とデータの照合などのチェックを行い、チェックが完了するとブザーがピッと鳴って電源ランプが点灯に切り替わり、液晶表示部に現在選択されているチャンネル番号と、内容が表示されて運用可能状態となります。

このとき表示部はOFFで液晶表示部の下半分チャンネル表示が反転しており、この状態は表示部に表示されていないことを意味します。(図②)

3 チャンネルの選択

選択ダイヤルを回すと液晶表示部の上半分が反転表示してチャンネルが切り替わり、目的のチャンネルを選択して決定スイッチを押すとブザーがピッと鳴って通信を行い、切り替えが完了して信号が戻るとピッと鳴って反転していた表示が元に戻ります。(図③)

(チャンネルの選択中に液晶表示部の上半分が反転表示している場合表示スイッチは無効で、決定スイッチで確定して反転表示が元に戻ると有効となります。)

(ダイヤルを回してチャンネルを選択しても12秒の間に決定スイッチが押されないと元のチャンネル状態に戻ります。)

※注意 表示部が点灯中でもチャンネルの切り替えは可能で、別のチャンネルを選択して決定スイッチを押すと点灯状態のまま切り替わります。
点灯状態で切り替える場合は、決定スイッチを押す前に表示内容に間違いの無いことを、液晶表示部で良く確認してから行ってください。

4 表示の点灯

表示スイッチを押すとブザーがピッと鳴り、表示部の点灯が確認されるともう一度ピッと鳴って、表示ランプの点灯と同時にチャンネル番号の反転表示が元に戻り、表示部に正しく表示されたことを示します。(図④)

(周囲が明るい状態ではコントローラーの電源ランプの点灯が確認しにくいので、電源ランプと液晶表示部の反転表示を併用しています。)

5 表示の消灯

表示部が点灯状態で表示スイッチを押すとブザーがピッと鳴り、表示部の消灯が確認されるともう一度ピッと鳴って、表示ランプの消灯と同時にチャンネル番号表示部分が反転して消灯したことを示します。

6 電源OFF

電源ランプが点灯している状態で電源スイッチを長押しすると、ブザーがピッと鳴り液晶表示部に『終了中』と表示されて電源ランプが点滅を開始します。(図⑤)

表示電源制御部より電源がOFFしたことの信号を確認して、コントローラーの電源がOFFします。

(この電源OFF操作は表示部の点灯中、消灯中、チャンネルの選択途中とどの状態からでも有効です。)

7 エラー、他

『表示器エラー』と表示される場合は表示電源制御部側と通信が確立されていない状態で、表示電源制御部側の電源がOFFしている場合などが考えられます。(図⑦)

『データエラー』表示の場合はコントローラー側と表示電源制御部側の表示データが不一致の場合で、片方だけデータを書き換えたり修正した場合などに発生します。(図⑧)

8 液晶表示部の表示パターン

図① 起動中



図② 消灯中



図③ 選択中



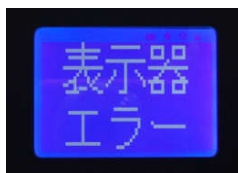
図④ 点灯中



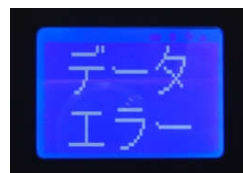
図⑤ 終了中



図⑦ 表示器エラー



図⑧ データエラー



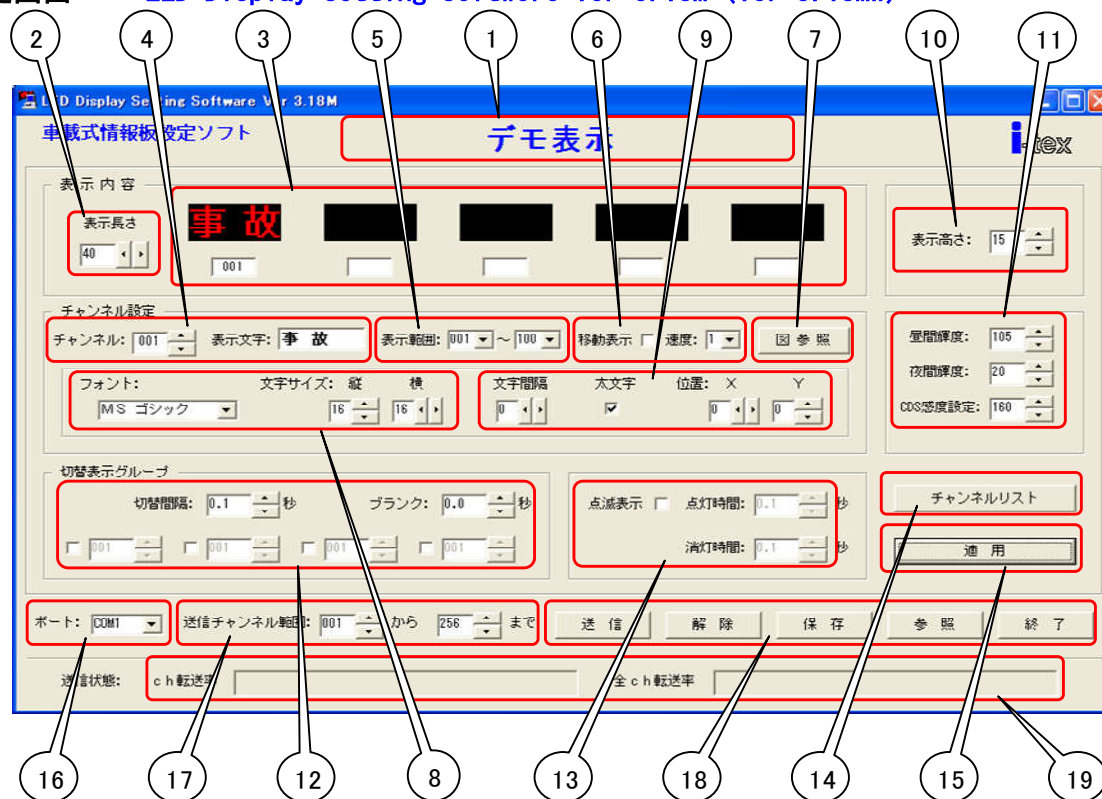
9 注意事項

コントローラーのボタンを操作中に車両のエンジンを切ると現在表示しているチャンネル番号をメモリーすることが出来ず、次に電源を入れたときに表示が001チャンネルに戻ってしまうことがあります。これは故障ではありません。

再度、使用するチャンネルに設定し直してご使用ください。

設定ソフト操作方法

設定画面 LED Display Setting Software Ver 3.18M (Ver 3.18MW)



- ① 画面に展開しているデータのファイル名が表示されます。
- ② 情報板の表示長さ（横ドット数）を「ワイドサイズ・ノーマルサイズ」は40に、「ミニサイズ」は48に設定します。
- ③ 実際に表示されるグループのデータがすべて表示されます。
- ④ 「チャンネル」で編集するチャンネルを選択し、「表示文字」欄にテキスト文字を入力します。
- ⑤ コントローラーで操作できる表示範囲を設定します。
- ⑥ 移動（スクロール）表示時の設定をします。
- ⑦ テキストの代わりに Bitmap を使用します。（Bitmap 使用時は④の「表示文字」欄は空欄にします。）
- ⑧ フォント（通常はMSゴシックを使用）と文字サイズをドット単位で設定します。（「ワイドサイズ・ミニサイズ」は縦：16横：16、「ノーマルサイズ」は縦：12横：12に設定します）
- ⑨ 文字間隔、太文字、表示位置を設定します。
- ⑩ 文字の高さを15に設定します。
- ⑪ 輝度、CDS感度を設定します。
- ⑫ グループを構成し、切替間隔、空白を設定します。
- ⑬ 点滅表示有無、点灯／消灯時間の設定をします。
- ⑭ 設定されているチャンネルデータをリストで表示、印刷が可能です。
- ⑮ 各チャンネル毎にテキスト、Bitmapの入力やパラメータを設定後に確定させます。
- ⑯ データ転送用USBケーブルを接続してソフトを立ち上げると自動的に設定されます。（ここが空欄の場合、データ転送用USBケーブルが認識されていません）
- ⑰ データの転送範囲を設定します。
- ⑱ データ送信、送信解除、データの保存、データの参照、ソフト終了の各ボタンです。
- ⑲ データ送信の進捗状況を表示します。

データの設定

切替表示の設定方法

例として **この先 事故 通行止** を2CHに設定する場合を説明します。

まず④に002CHを設定してテキストで**この先**と入力して、このチャンネルを親として⑮の”適用”すると③の一番左の窓に表示されます。

次に便宜上051CHに**事故**を、111CHに**通行止**を同じ方法で子チャンネルとして設定します。

④で002CHに戻り、⑫を使ってグループ関係を設定します。

方法は下の4つある設定窓の左端のチェックボックスをチェックしてその右窓051CHを設定し、次に右隣にもチェックして111CHを設定します。これで002CHの**この先**を親として051CHの**事故**111CHの**通行止**が親子として関連付けられた事になります。

次に上の”切替間隔”、”ブランク”を使って表示タイミングを設定します。

”切替間隔”は各チャンネルが表示している時間で”ブランク”はチャンネルが切り替わる時に消灯する時間を設定し、0を設定すればブランク無しになりすぐに次のチャンネルに切り替わります。

例えば”切替間隔”に1.0秒、”ブランク”に0.4秒を設定すると、この場合の実際の表示は**この先**1.0秒表示、**ブランク**0.4秒、**事故**1.0秒表示、**ブランク**0.4秒、**通行止**1.0秒表示、**ブランク**0.4秒となり、これを繰り返して表示します。尚、051CHや111CHのように子として登録されたチャンネルデータは別のチャンネルを親として何度でも使用することができます。これら各チャンネルのデータを設定した場合は必ず”適用”により確定させないと反映されません。この場合④の”チャンネル”を一旦別のチャンネルに設定してから再度戻して002CHにすると③に **この先 事故 通行止** 関連付けされた表示となります。

移動表示の設定方法

移動表示の場合は切替え表示と同様に設定するが⑫の切替間隔やブランクは設定しないで、⑥の”移動表示”にチェックして”速度”を設定すると親の後に子として設定したチャンネルの文字が繋がってスクロール表示されます。(速度は6、7、8あたりが適当)
この場合、1チャンネル3文字×5チャンネルで最大15文字を移動表示できます。

点滅表示の設定

点滅表示させる場合は切替表示と同様に任意のチャンネルに表示データを設定し、⑬の”点滅表示”にチェックを入れて点灯時間と消灯時間を0.1秒単位で設定します。点滅動作は通常そのチャンネルだけを点滅させながら表示しますが、親、子のどちらにおいても有効のため、併用すると点滅間隔と⑫の”切替間隔”は干渉するので注意して設定します。

表示範囲の設定

コントローラーで操作できる範囲を指定するところで、通常親チャンネルを設定した範囲を表示範囲としておくと、コントローラーで表示切替したときに子チャンネルを表示してしまうことはありません。

最大、最小輝度、CDS感度の設定

通常は最大輝度105、最小輝度20、CDS感度60～120位に設定すると良いです。

データの保存と参照

⑱の”保存”を使って作ったデータに名前をつけて保存することが出来、保存されると①にファイル名が表示されます。また、”参照”を使用して保存してあるデータをソフト上に展開し、修正や情報板への書込みが行えます。

チャンネルリスト

⑭の”チャンネルリスト”により 001CH～255CHの全ての表示内容、親子関係が一覧表として確認でき、プリントアウトすることも出来ます。

表示内容はテキストデータ、Bitmapデータのどちらも表示されます。

データの送信

作ったデータは必ず名前を付けて保存し、下記の手順により情報板に転送します。

1. データ転送用USBケーブルをパソコンに接続し、ドライバーのインストールをします。(USBドライバーは、windows7以降のパソコンではほとんどが自動インストールされます。自動インストールされない場合は、付属の「設定ソフトCD」を使用し、インストールしてください。)
2. ⑯のUSBポートを設定します。(データ転送用USBケーブルをPCに差し込んでからソフトを立ち上げると自動的にCOMポートが選択されます)
3. ⑰で転送CHの範囲を指定します。(CH範囲が離れている場合は何回かに分けて何度転送しても良く、転送したチャンネルだけが書き換わります)
4. 転送中は⑱のインジケータに転送状況が表示され、情報板は表示が消灯して転送が完了すると新しいデータを表示開始します。
5. 表示範囲、輝度などの各チャンネルに共通の設定を変更する場合は最低でもどこか1CHを送信すれば共通の設定値は転送されます。(表示グループや点灯タイミングなどは変更したチャンネル全てを転送します)

その他

001～050CH や 001～100CH を親として設定し、それ以降を子として設定すると使用しやすいです。

付属の”表示データ編集フォーム”を使用してデータを作成してから設定すると、複雑な組合せも整理されて表示内容をプリントアウトするだけで一覧表も簡単に作成できます。

保証・アフターサービス

- 保証期間内に取扱説明書にそった正常の使用状態で故障した場合には、販売店または販売元が無料で修理いたします。必ず保証書を添えてご依頼ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
 1. 保証書のご提示がない場合および保証書にお買上げ日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
 2. 誤ったご使用、不注意、不当な修理、改造、天災地変等による故障または損傷
 3. ご使用中に生じる外観上の変化
- ご使用後は保証期間内外に関わらず、LEDの0.5%以内の欠損は保証対象外です。
- 修理品の運賃、諸掛り費用はお客様にてご負担願います。
- 修理にあたり、部品・その他の付属品は一部代替部品を使用させて頂くことがあります。また、修理が困難な場合には、同等品と交換させて頂くことがあります。
- 保証期間経過後も原則として有料修理が可能です。販売元にご相談ください。
- ご不明な点は販売店にお問い合わせください。
- 本機は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常の使用状態で故障した場合には、無料で修理いたします。本書をご提示の上、販売店または販売元に修理をご依頼ください。
尚、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
本書は日本国内においてのみ有効です。
本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

機種名	ブラインド型車両搭載情報板	
お買上げ日	年 月 日	
保証期間	お買上げ日より1年間	
お客様	お名前	
	ご住所	
	TEL	
販売店		

製品仕様

表示部			
	ワイドサイズ	ナローサイズ	ミニサイズ
外形寸法	縦 395mm×横 923mm×厚み 3mm	縦 295mm×横 923mm×厚み 3mm	縦 285mm×横 770mm×厚み 3mm
重量	約 1.5kg	約 1.1kg	約 1.0kg
使用LED	I Cチップ搭載型高輝度3LED 1色 (アンバー)		
最大表示文字数	全角2.5文字	全角3.5文字	全角3文字
表示寸法	縦 350mm×横 858mm	縦 250mm×横 858mm	縦 240mm×横 700mm
ドット数	15×40dot	11×40dot	15×48dot
文字の大きさ	最大 縦 350mm×横 308mm (全角1文字)	最大 縦 250mm×横 264mm (全角1文字)	最大 縦 240mm×横 230mm (全角1文字)
輝度	自動		
電源	DC12V 5A未満	DC12V 3.5A未満	DC12V 6A未満
コントローラー			
外形寸法	縦 135mm×横 76mm×高さ 30mm		
重量	320g		
チャンネル数	最大 256ch		
通信	特定小電力無線による		
電源	DC12V 0.5A未満 シガーライター供給		
表示電源 制御部			
外形寸法	縦 250mm×横 110mm×高さ 45mm		
重量	650g		
チャンネル数	最大 256ch		
通信	特定小電力無線による		
電源	DC12V 5A未満 (表示部と共用)		
設定ソフト動作環境			
OS	WindowsXP 日本語版以上		
CPU	PentiumIII-500MHz 以上		
メモリ	128MB 以上を推奨		
HDD空き容量	10MB 以上を推奨		

販売元



株式会社 アイテックス

〒198-0022 東京都青梅市藤橋3-9-15
(株)市川精機 内

URL: <http://www.i-tex.co.jp>

企画・輸入元

株式会社 市川精機

ICHIKAWA SEIKI INC,

〒198-0022 東京都青梅市藤橋3-9-15

URL: <http://www.ichikawa-seiki.co.jp>